



この一年を振り返って。

江の島丸船長の榎沢です。

長らく更新をサボってしまい、アクセスして頂いている方々には大変申し訳ありませんでした。

この一年を振り返ってみると色々な事がありました。

何と言っても台風により各地に甚大な被害が及んだ事です。

河川の氾濫で何より大切なご家族を亡くされた方々、家や田畑を失った方々におかれましては、心よりお悔やみ申し上げます。

ここ数年地球温暖化の影響か台風の大型化が目につきます。

昨年9月9日に上陸した台風15号は、船内の気圧計で何と961.4ヘクトパスカルを記録しました。また南西の風は少々影になる、ここ三崎港日の出岸壁でMAX34.3m/sの風速も記録しています。

接近した台風による大波が防波堤を超え工場に甚大な被害を及ぼしたほか、高潮による海面の上昇で岸壁より水面が高くなる現象、とてつもない強風、大雨による道路の冠水、通行止め等々滅多に起らない事が近年集中して起こっています。

自然の猛威にはなすすべがありません。

しかし唯一我々にとって船に大きな被害が出ていない事は幸いです。

今季のサバ漁は近年続いている資源量の好調に押され、サバタモすくい漁各船好調な水揚げでした。

魚体は平均して少々小ぶりでしたが、脂の乗りもよく大変美味でした。

しかし燃油の高騰、まき餌に使うセグロイワシの不漁による値上げに加え、水揚げ魚価の低迷等、漁業者に対する逆風は弱まるどころか増すばかりです。

そしてここに来て脅威となっている新型コロナウイルスの存在があります。

人命に対する脅威から、様々な分野に問題が波及し、経済活動の停滞により魚価の低迷へと悪い連鎖が及んでいます。

悪い事ばかりに目を向けてしまいがちですが、この4月1日より五名の新しい仲間が加わりました。

本県取締船「たちばな」より人事異動になった者、相模湾試験場所属の調査船、ほうじょうを定年退職し再任用職員として来たもの、他の三名のうち二名は新規に採用になった者で、もう一名は臨時技師として採用になりました。

この三名は色々な船で多くの経験を積んできた猛者ばかりですので、早く仕事に慣れ大いに活躍する事と期待しています。

次回より順番にこの場を使って皆様に紹介したいと思います。

